

2023年度 後援会イベント参加支援審査結果

No.	団体名	イベント名(大会名) イベントテーマ	実施日 場所	参加 学生数	支援決定金額
1	東京電機大学フォーミュラSAEプロジェクト (理工学部)	「Formula SAE-Australasia2023」 米国のSAE(日本の自動車技術会に相当)がエンジニアを育成するための教育プログラムで、本大会では、車両の運動性能、設計・制作技術やコスト管理能力、プレゼンテーション能力を競う。	2023/12/7(木)～12/10(日) Winton Motor Raceway, Victoria, Australia	14名	430,000
2	TDU Space Project (理工学部)	①「ARLISS 2023」※ ※ARLISS (アーリス、A Rocket Launch for International Student Satellites) UNISEC公認のCanSat(飲料缶サイズの模擬惑星探査機)投下試験。	2023/9/10(日)～9/15(金) アメリカ ネバダ州 ブラックロック砂漠	3名	150,000
		②「第20回種子島ロケットコンテスト」 CanSatを地上50mの高さからパラシュートで降下させ、着地後、目的地に向けて自動制御で走行させる。 目的地までの距離を競うほか、プレゼンテーションによる機体の完成度・アイデア等も審査する。	2024年3月上旬 開催予定 鹿児島県南種子町種子島宇宙センター(JAXA)	3名	
3	自動車部 (理工学部学術文化部)	本田宗一郎杯「Honda エコマイチャレンジ 2023 第42回全国大会」 1リッターのガソリンで、どのくらいの距離を走行できるか、車両の燃費を競うアジア圏最大規模のモータースポーツの大会。	2023/9/9(土)～10(日) モビリティリゾートもてぎ	14名	350,000
4	東京電機大学 FGV・EVプロジェクト (工学部)	「ワールド・グリーン・チャレンジ・ソーラーカー・ラリー」 世界三大ソーラーカーレースの一つである、ソーラーカー、燃料電池車、電気自動車などのクリーン・エネルギーを使ったエコを競う自動車大会で、クリーン・エネルギーの開発と活用の促進と共に、次代を担うエンジニアに技術実験の場を提供し、ソーラーエネルギーなどの有効性・可能性を広く全国・全世界に発信及び環境・エネルギー問題への関心を高めることを目的としている。	2023/8/6(日)～8/9(水) 秋田県大潟村「大潟村ソーラースポーツライン」	8名	200,000
5	二部 アマチュア無線部 (東京千住キャンパス 工学部第二部 文化会)	「JARL主催 第66回フィールドデーコンテスト」 日本アマチュア無線連盟が主催し、固定設置電源の無い場所(電源が容易に確保できない場所)から、時間(18時間)内に交信できた無線家の数と地域を競う大会。	2023/8/5(土)～8/6(日) 全国各所(大会参加場所は無線運用場所によって異なります)	8名	50,000
6	軟式野球部 (理工学部体育会)	「東関東ブロック大会」 我々が所属する首都大学軟式野球連盟内で毎年開催される春季リーグ戦で、総当たり戦で全5試合を戦って順位を決め、上位3大学で決勝トーナメントを行い、優勝大学は全国大会出場、準優勝大学は東関東ブロック大会出場となる。 我々は首都大学軟式野球連盟の準優勝大学として、他の3つの野球連盟(北関東大学軟式野球連盟、関東新大学軟式野球連盟)から選出された3大学と東関東ブロック大会でトーナメントを行うこととなった。	2023/6/7(水)～6/9(木) ナスパ・スタジアム(千葉県)	46名	30,000
7	天文研究部 (東京千住キャンパス学術研究部会)	「第20回種子島ロケットコンテスト」 種子島ロケットコンテストは、手作りによるモデルロケット及び衛星機能モデル(CanSat)を開発・制作し打ち上げるイベントです。参加資格は日本国内の高校、高専、大学の学生及び社会人です。私たちが出場する予定のCanSat部門オリジナルミッション競技では、独自のミッションを設定、遂行することが目的で、ミッション内容、機体の完成度及び当日のミッションの達成度を評価、審査されます。	2024年3月上旬 開催予定 鹿児島県南種子町種子島宇宙センター(JAXA)	15名	100,000

総額 1,310,000